

## 2010 年度事業計画書（概要）



FERRIS  
JOGAKUIN

2010 年度は、学院創立 140 周年となります。キリスト教信仰に基づく女子のための教育を行うという学院の目的を再確認し、2020 年の創立 150 周年の大きな節目につながるように、長期的展望のもとに For others の教育モットーを確かなものとして具体化する諸事業を行います。

事業計画の柱として以下を予定しています。

- 創立 150 周年（2020 年）を目標にした学院の将来構想をまとめ発表する。
- 創立 140 周年を記念した諸事業を行う。
- 教育事業を支える教職員が働きやすいように、制度や職場環境の改善を継続する。

## 学院基盤の強化等に向けた取り組み

### (1) 制度政策に関する事項

- ① 経営改善計画に則った継続的な取り組みを実施し、総括的な検証を行う。

2006年度に策定した経営改善計画目標（※）達成に向けた諸政策を継続して実施する。また、同計画策定から5年目となる2010年度は、これまでの実績を総括的に検証し、財政健全化にむけて更なる中期目標（第2次）について検討を行う。

※経営改善計画目標（第1次 抜粋）

- |    |       |                             |
|----|-------|-----------------------------|
| i  | 中長期目標 | 帰属収支の均衡を確保し、消費収支の均衡を目指す     |
| ii | 中期目標  | 恒常的な安定を目指し、グランドデザインを策定、実施する |

- ② 学院のグランドデザイン（長期的将来構想）をまとめ発表する。
- ③ 人材育成制度の体系化の推進と職場環境の改善を図る。
- ④ 次の項目に重点を置き、危機管理体制を確立する。
- 緊急時（パンデミック時等）対応
  - 事故・事件発生時の対応

### (2) 財務に関する事項

- ① 財政健全化に向けて、経常経費は前年度予算の範囲内とする。
- ② 第2号基本金の組み入れ計画は、昨年度と同じとする。
- |                               |             |
|-------------------------------|-------------|
| ■ 大学部門：大学キャンパス施設設備拡充整備資金計画    | 1億5,000万円組入 |
| ■ 中学校・高等学校部門：中高校舎等建替第二期工事建築資金 | 1億円組入       |
- ③ 資金運用による金融資産の蓄積に努める。
- ④ 減価償却引当特定資産として7,000万円＋大学施設設備費増額分1/2相当を繰り入れる。

### (3) 施設設備の整備に関する事項

- ① 主な事業
- 教育支援・学習支援に重点を置いた新学務システムの導入
- ② 維持管理に関する事業（改修・修繕等）
- |    |                        |
|----|------------------------|
| 大学 | CALLシステムの更新及び新規導入      |
| 〃  | グリーンホールAV機器入れ替え・長期保守計画 |
| 〃  | 山手フェリスホール外装等修繕工事       |
| 〃  | 学内売店施設の見直し（継続）         |
| 〃  | 女子トイレ環境改善              |
| 〃  | 緑園2号館バリアフリー関連工事（継続）    |

### (4) 学院支援体制強化に関する事項

- ① 維持協力会の活動を活性化する。
- ② 教育充実資金その他の募金活動を推進する。

## (5) 創立 140 周年記念諸事業

---

- ① 学院ロゴタイプを制定し、活用する。
- ② カイパー記念講堂にパイプオルガンを設置する。
- ③ 記念行事として創立 140 周年記念クリスマスを行う。
- ④ 学院 150 年史編纂のための準備を始める。
- ⑤ その他 設置校主催の諸事業を行う。

## 設置校の取り組み（抜粋）

### フェリス女学院大学

---

大学は、「キリスト教を教育の基本方針とし、教育及び学問研究の機関として、女子に高度の教育を授け、真理と平和を愛し、人類の福祉に寄与する自立した女性を社会に送り出す」ことを目的としている。学部別として文学部は「多様化する社会で他者と共生し、主体的に表現できる豊かな素養ある人材の養成」、音楽学部は「キリスト教音楽を基盤として、専門的な知識・能力・技術を持ち、かつ音楽界を多様に支える素養ある人材の育成」、国際交流学部は「グローバル化の時代にふさわしい、専門分野の枠を越えた総合的知識ある人材の育成」を教育研究目的としている。また、教育面、学生生活面ではキリスト教信仰に基づく、「For Others」の精神を中心に、ひとりひとりの学生を大切にす少人数教育を行っている。

1 F140th 事業（創立 140 周年事業） 2 将来計画委員会 3 自己点検・評価の継続 4 F/D 活動の充実と継続実施 5 3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）の充実と定着 6 キリスト教音楽研究所主催のキリスト教音楽演奏会の開催 7 障がい学生の授業保障への全学的取組み 8 情報システム更新関係 9 大学公式ホームページの運用体制の整備 10 教育用機器の計画的更新

### フェリス女学院中学校・高等学校

---

2010 年度は、創立 140 周年の区切りの年である。第一に、本校の基盤である、日々の礼拝、修養会をはじめとする各種キリスト教教育の再確認に努めたい。また 2012 年度よりの中学校及び 2013 年度よりの高等学校の新教育課程実施を前に、本年度はいずれもその移行期間となる。従って、現行教育課程の見直しと、今後の教育内容の具体的な方向性の検討ならびに再構築に取り組むたい。

さらに、2008 年度から開始した小学校 6 年生を対象とする学校見学会も定着しつつあり、11 月の保護者対象の学校説明会も年々、視聴覚的要素も取り入れるなど、よりきめの細かい内容となってきた。本年度も、その延長課題として、ホームページのなお一層の充実、新しい学校案内の作成など、本校にふさわしい情報発信とは何かを念頭に、具体策を検討し、年度当初より実施する予定である。

以上